



自然科学系 准教授  
久保田 喜裕 KUBOTA Yoshihiro

専門分野 資源・環境・災害地質学、テクトニクス

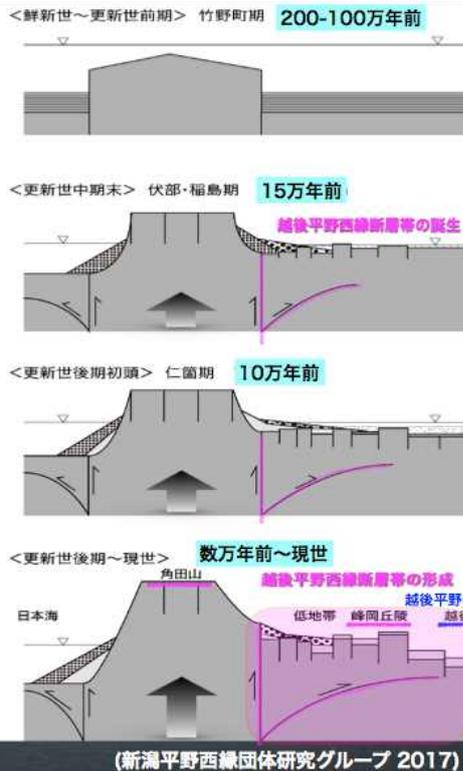
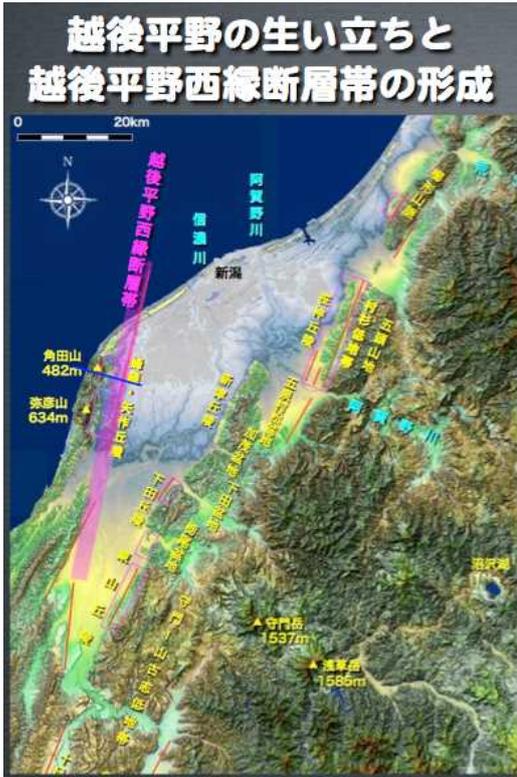
共通・他の領域

## 弥彦・角田山地、越後平野の生い立ちと 越後平野西縁断層帯

キーワード 弥彦・角田山地、越後平野、越後平野西縁断層帯、後期更新世、加速的隆起

### 研究の目的、概要、期待される効果

越後平野西縁域には新第三系火山岩類からなる弥彦・角田山地と鮮新統～第四系からなる矢作・峰岡丘陵が位置しています。矢作・峰岡丘陵は、それぞれの山麓斜面とは連続せず、低地帯を隔て“孤立丘陵”化しています。弥彦・角田山地の東麓には「越後平野西縁断層帯」が走っており、将来の大地震が懸念されています。弥彦・角田山地の隆起史を復元することは、越後平野西縁断層帯の活動史を編むことにほかならず、将来の越後平野西縁断層帯の再活動、すなわち大地震の再来を考えるうえでも急務です。角田(・弥彦)山地と越後平野の生い立ちは以下のとおりです。



- 鮮新世～更新世前期：浅海～半深海環境。
- 更新世中期末(約15万年前)：角田山塊の隆起，峰岡丘陵および越後平野西縁断層帯の発生，浅海～デルタ。
- 更新世後期初頭(約11万年前)：引き続き角田山塊の隆起，丘陵の地塊化，浅海～デルタ。
- 更新世後期～現世：角田山塊の加速的大隆起，峰岡孤立丘陵・越後平野の形成。

(新潟平野西縁断層帯研究グループ 2017)

関連する  
知的財産  
論文 等

■ 越後平野西縁断層帯域 峰岡丘陵の地質構造発達史 - “孤立丘陵”・活断層の形成過程 -，新潟平野西縁断層帯研究グループ，2017，地球科学，71-3，135-154。

### アピールポイント

地質災害への防災・減災に寄与していきます。

### つながりたい分野(産業界、自治体等)

・地質災害への防災・減災に取り組んでいる国、自治体等